

寒い冬を終えて暖かな3月に。
焦らず安全運転で、気持ちの良い日々を過ごして下さい。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)



生活道路での猛スピード

この映像の訴求ポイントは…

- ◎生活道路ではとにかく徐行です。
- ◎一時停止線は、線の手前でいったん停まることに意味あり。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



子供転倒

この映像の訴求ポイントは…

- ◎ガードレールのない車道では、突然の飛び出しに注意。
- ◎子供と自転車に遭遇したら、飛び出しに備えて足をブレーキに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あわや衝突!!!

この映像の訴求ポイントは…

- ◎出入りの激しいコンビニ駐車場は、信号がない交差点と同じ。
- ◎車の陰（死角）には何かいる、と考えよう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



危ない!

この映像の訴求ポイントは…

- ◎暮れ時の高速道路、料金所付近や分岐部は特に要注意。
- ◎相手の死角に入らない防衛運転を心がけよう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あと0.5秒…

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車や歩行者の少ない深夜はハイビーム走行で。
- ◎ルールを守る以上に、相手へ譲る。事故防止の要諦ですね。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】小学校入学時に子供の飛び出し事故が急増！

暖かい春がきて、新緑の季節となりました。春休みを終えて4月に入れば、子供たちにとっては新学期のスタート。新しい生活や出会いに心躍る時期でもあります。そして、そんな時だからこそ期待に胸を膨らませる子供たちを、私たち大人が交通事故から守る気持ちが大切です。

新学期に入ると、子供たちの行動範囲もぐっと広がっていきます。自宅の近所でも慣れない道路では、思いがけない行動をとる子供たちを多く見かけます。特に小学校へ入学したばかりである7歳児の登下校及び遊戯中の交通事故が際立って急増します。

交通事故の統計データでは、子供の交通事故の形態では、飛び出し事故が約4割を占めています。この原因は、子供には危険を予測する能力が欠けているうえ、興味ある対象を見つけると注意を奪われて、真っ先にそこに向かって走ってしまう＝結果として飛び出しに繋がるからです。

幼稚園や保育園に通っている幼児の間は大人と行動する機会が多いのですが、小学生になると児童だけで行動する機会が増えてきます。まだ知的発達や経験の乏しい子供たちは危険なことが感じ取れないので、大人がよく教えて守ってあげなければなりません。小学校に入学する前までに、学校までの道のりを何度も一緒に歩くなど、繰り返し時間を掛けて交通安全への指導をすることが大切です。

車を運転するドライバーの立場からは、「子供は飛び出しをするもの」という意識を持つことが大切です。走行中に子供を見かけたら、ガードレールなどで物理的に飛び出しが出来ない道路環境でない限り、飛び出してくると考えましょう。子供を見かけたら、飛び出しに備えて、いつでもブレーキを踏み込めるように、足の位置をアクセルペダルからブレーキペダルに移しましょう。

場所や交通状況、時間帯によっては、子供の姿が見えなくても飛び出しを警戒すべき場合があります。例えば、登下校時間にあたる通学路や平日午後・休日昼間の住宅街や公園の近くなどです。たとえ子供の姿が見えなくても、飛び出してくる可能性を意識しておきましょう。特に自転車に乗っている場合はスピードも速いので、子供の飛び出しに気付いた時にはすでに自車の目の前に！ということもあります。このような場所では、あらかじめスピードを控えめに、物陰からの飛び出しを常に警戒して走行します。交差点では、必ずカーブミラーに子供の姿がうつっていないか、確認しながら運転するようにしましょう。

